



青山中だより

2026年2月18日(水)

NO. 12

[校長室より]

いよいよ3年生が学び舎を巣立つ日が近づいてきました。教室をのぞくと、真剣な眼差しで問題に向き合う姿や、仲間と励まし合う姿が見られ、その緊張感の中にも力強い決意を感じます。その背中を追う1・2年生にとっても、3学期は「0学期(次年度の準備期間)」と言われる重要な月です。3年生が築いてきた伝統のバトンをしっかりと受け継ぐ心の準備を整えていってほしいと思います。



2年生「人生の先輩から学ぶ会」(1/16)

1月16日(金)、2年生が、地域で活躍される5名の方々から、仕事のやりがいや苦勞、これから大切にしていってほしいことなど、バラエティに富んだお話を伺いました。



14歳という、大人への階段を上り始めるこの時期。「あんな大人になりたい」という憧れや志を大切に育みながら、最上級生となる準備を整えていってほしいと願っています。

<講師を担当いただいた皆様…ありがとうございました！>

- ・上迫 直生(うえさこ なおき)さん…ペピーズホースフィールド 代表
- ・中井奈緒美(なかい なおみ)さん…ZUIUN ファーム 代表
- ・津田 彰史(つだ あきふみ)さん…アオイチゴ 代表
- ・橋本 史織(はしもと しおり)さん…介護士 代表
- ・神山 幸久(こうやま ゆきひさ)さん…ダイヤモンド神山 代表

<生徒の感想から(一部抜粋)>

- 講師のみなさんのお話を聞いて「思ったより奇跡は近くにある」「夢は口に出す。Nothing is Impossible.」「失敗はこわくない。失敗してもすぐ行動!周りの人を大切に。」「1つのコップが教えてくれること。後悔しないように勉強を。」「ダイヤモンドより硬く強く生きていこう」と思いました。
- 自分の夢や目標は周りの人も共有すれば協力してくれるかもしれないから共有していこうと思った。新しい道に進んでいくのは大変やけど、チャレンジしないことには何も始まらないし、失敗することがないから成長もできない。これからは色んなことにチャレンジしていこうと思った。

1年生「いのちの育み」教室（1/19）

1月19日（月）、1年生は、助産師の 林みち子さんをお招きし、『ホンネで話そう！生と性～しあわせなおとなになろう♡～』と題してお話を聞きました。小学校5年生から2年ぶりの出会いでしたが、今回も言葉のシャワーをたくさん浴びて、林みち子さんの想いを感じ取り、命の尊さや自分の生き方についてじっくり考える機会となりました。



<生徒の感想から（一部抜粋）>

- 自分は自分で決める。相手は相手が決める。誰も、ずっと人のいいなりにならなくて良いという言葉がいいな～と思いました。誰もが自分自身の明るい未来に行きたいはずなので、時には自分で進路を決めてみようと思いました。少しでも広く遠くに行けるように、相手の意見、考えを取り入れながら自分の意見も互いに尊重したいです。
- ぼくは「めんどくさい」という言葉を1日に30回ぐらい言っています。でも、今日気づきました。それは、チャンスを逃していると分かりました。だから、今日から少しずつ「めんどくさい」という言葉を減らしていこうと思いました。当たり前前に学校に行ったり、当たり前前に帰ってきているのも、それは当たり前じゃないことに気づきました。もう一度話を聞いて勉強したいぐらいです。

令和7年度 伊賀市中学生議会（1/21）



1月21日（水）、伊賀市役所本庁5階の議場にて、伊賀市中学生議会が行われました。中学生議会は、伊賀市の未来を担う中学生たちに、伊賀市の市政や議会への興味関心を深め、社会参画への態度や意欲を培い、未来の伊賀市の姿を考えることを目的に取り組みされました。

本校からは、福田 愛心さん（2-1）と廣崎 太志さん（2-2）が参加し、一般質問で、「みんなが暮らしやすい街づくり」という観点から、伊賀市の「地域公共交通計画」に基づいた具体的な対策や、若者の移動の自由をどう守るかについて質問しました。

<中学生議員として参加した感想>

- 初めての中学生議会だったけど、とても緊張しました。でも、本番は楽しく、自分が思っていることを発言できて良かったです。
- 中学生議員として一般質問をするとき、めっちゃ緊張しました。でも、市長さんたちも緊張して答弁を間違ったりして場が和んでいたのがちょっと良かったです。最後には市長や議長の座っているイスに座るという貴重な体験もできて良かったです。

青中人権の集い（1／23）

手作りの歌と話をとおした人権ライブキャラバンを全国各地で開催している長島（ながしま）りょうがんさんをお招きし、「青中人権の集い」を実施しました。

今回の集いでは、「想いのカタチ」と題して、ギターによるトーク&ライブの形で、「誰も一人ではない」ことや、「本当に大切なもの」について、お話をさせていただきました。



<生徒の感想から（一部抜粋）>

○私が一番印象に残ったのは、「99%は自分を大切に。1%はどうか人を傷つけるような言葉ではなく、人を元気づける言葉にしてほしい」というお話です。確かに、自分を大事にできないと、他人も大事にすることができないのではないかと考えました。

3年生「青山文化センター」訪問（2／6）

2月6日（金）、3年生が青山文化センターを訪問し、職員の方々からお話を聞かせていただきました。聞き取りを通して、人権を大切に活動の拠点としての青山文化センターについて学ぶとともに、中学校卒業後のことも含めて、差別や偏見をなくすための生き方について考えることができました。



令和7年度中学生人権作文コンテスト

【入選】 福澤 陽菜さん（3年） 「平和をつくるために」

第38回中部日本個人・重奏コンテスト三重県大会

【個人の部・打楽器】 金賞 谷口 瑛人さん（2年）

【木管4重奏】 銀賞 奥田 敬大さん（2年）、川口奈緒美さん（2年）、丸山 和栞さん（1年）

3月の主な予定

- 3月10日（火） 三重県立高等学校後期選抜検査
- 11日（水） 三送会
- 12日（木） 第43回卒業証書授与式
- 17日（火） 三重県立高等学校：合格発表
- 25日（水） 令和7（2025）年度 修了式